

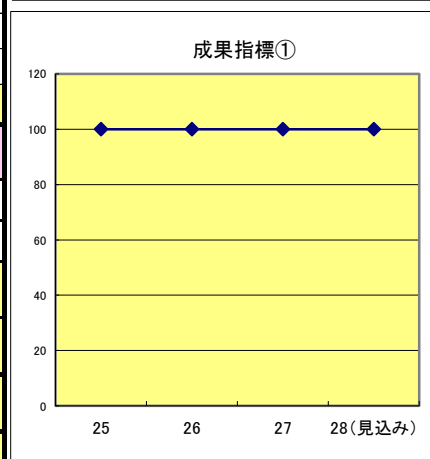
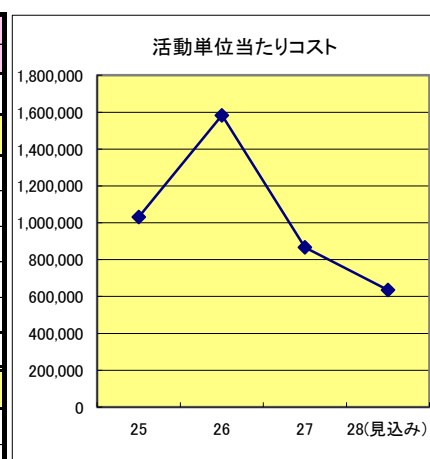
平成 28 年度 事務事業評価シート (平成 27 年度実施事業)

整理番号

生産02

事務事業名			農業用施設管理事業		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち			款	6	農林水産業費	
	施策(節)	6	都市農業			項	1	農業費	
	施策の方向	(2)	農業生産基盤の強化			目	5	農地費	
関連する計画等					事業	2	水利施設管理		
					作成部署	生活環境部産業振興課			
					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2791			
事業の概要(目的・内容)			広域農道や古市排水機場等の市管理施設及びピーチパーク・パークはびきやま等の地元管理施設について適正な施設の維持管理を行う事業。 ○大阪府との契約により市が管理する施設：広域農道・古市排水機場・川向排水機場・壺井排水機場等 ○市が管理する施設：古市湛水防除水路・樫山池太陽光発電システム・樫山池耕水機・大谷農道・長坂農道等 ○地元と市が協働で管理する施設：伊賀今池ピーチパーク・パークはびきやま等						
根拠法令等			土地改良法・羽曳野市土地改良事業及び耕地災害復旧事業分担金条例						
事業期間			☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満 (平成 年度開始)						
事業開始時からの状況変化			経年経過による施設の老朽化に伴い施設管理費も増加している。						
実施手法			☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先			☐ 市外郭団体委託 名称() ☒ 民間委託 ☐ その他				委託内容		

区 分		25年度	26年度	27年度	28年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		9,016	8,810	4,527	5,345
人件費【2】 (千円)		2,329	2,270	2,409	2,918
職員数	正規職員	0.31 人	0.30 人	0.31 人	0.37 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.10 人	0.10 人	0.00 人	0.00 人
	非常勤職員	人	人	0.10 人	0.10 人
超過勤務(参考) (時間)		20.00 時間	20.00 時間	10.00 時間	10.00 時間
総事業費【(1)+(2)】 【A】 (千円)		11,345	11,080	6,936	8,263
財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0	0
	府支出金 (千円)	0	0	0	0
	市債 (千円)	0	0	0	0
	その他(使用料・手数料等) (千円)	0	0	0	0
	一般財源 【B】 (千円)	11,345	11,080	6,936	8,263
活動指標 【C】 (事業の活動実績) 単位		25年度	26年度	27年度	28年度 (見込み)
① 維持管理補修実績施設数	件	11	7	8	13
②					
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		1,031,364 円	1,582,900 円	867,035 円	635,595 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)		1,031,364 円	1,582,900 円	867,035 円	635,595 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		97 円	96 円	61 円	73 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			▲ 2.3 %	▲ 37.4 %	19.1 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ) ※該当項目すべてに✓		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☒ 2. 左記			
		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫			
		☐ 5. その他(			



成果指標 (事業の達成度)	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	① 維持補修実施率	%	目標 100	100	100	100
	(式又は説明) 要補修箇所数÷実施数×100		実績 100	100	100	100.0%
成果指標 (事業の達成度)	②		目標			達成率(%)
	(式又は説明)		実績			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
				○		○		○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	施設管理を怠ると事故や災害（人災）に直結し、甚大な被害が発生する。そのため、ポンプ施設の機械のメンテナンスや農道の保守点検は必要不可欠である。又、地元と市の協働で作った施設について、地域の憩いの場として現在も不特定多数の人に使用されており、人的な事故等が発生しないよう地元と共に適正な管理が求められている。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	市の管理する施設は老朽化が進んでおり、適切な管理をしていくためには人員や予算の削減はできない。地元と共に構築した施設については、市も協働し地元適切な管理をして頂けるよう努める。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☐	☒	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	伊賀今池ビーチパークやパークはびきやま等は、オアシス整備事業により地元と共に整備計画を立案し、整備しており、現在も地元と市が協働で維持管理を行っている。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	市管理施設及び地元と協働で管理している施設において問題が発生していないことから、農業生産の安定・円滑化・農業振興に寄与していると伴に適切な施設管理を実現していると考えられる。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担 当 部 局 評 価	総合評価	
	☐ 継続 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	農業従事者等の各地域のニーズを反映しながら行政として適正な施設管理ができるよう、今後も努めていく。 又、地元と市が協働で管理する施設については、将来に渡り地域から親しまれ大切にされる施設となるような取り組みを行っていく。	
行 革 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止	